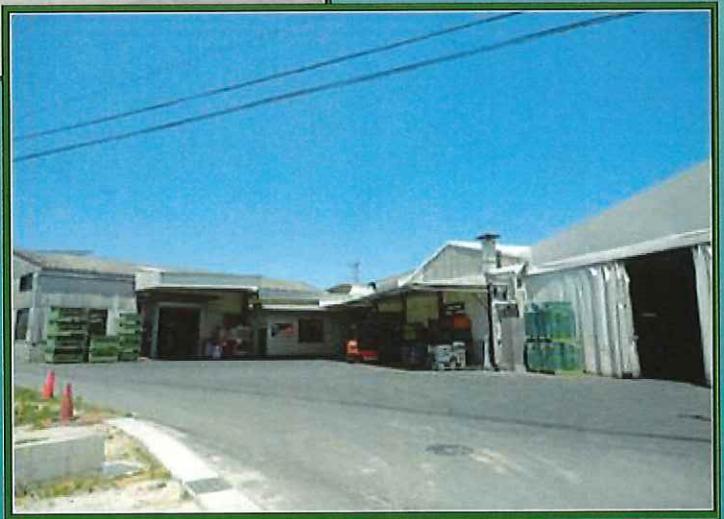


環境経営レポート

発行2023年5月7日
(取りまとめ期間2022年3月~2023年2月)



株式会社中山工業所

目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境経営計画
 - 6-1. 環境経営計画に基づき実施した取組内容
 - 6-2. 実施体制
- 7-1. 環境経営目標の実績
- 7-2. 環境経営計画の取組み結果とその評価
- 7-3. 次年度の環境経営目標
- 7-4. 次年度の環境経営計画
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無
9. 代表者による全体評価と見直し・指示

1. 組織の概要

1) 事業者名

株式会社 中山工業所
代表取締役社長 矢頭 功生

2) 所在地

本社・工場 : 愛知県豊田市本新町2-32-1

3) 環境管理責任者

環境管理責任者 : 矢頭 智
電話 : 0565-32-1863
FAX : 0565-32-3716
E-mail : n-kogyo@hm2.aitai.ne.jp

4) 事業の概要

自動車部品金属プレス・溶接加工

5) 事業規模

法人設立年月日 : 1960年6月1日
資本金 : 1000万円
売上高 : 1146百万円 (2022年度)
従業員 : 31名 (2022年4月現在)
敷地面積 : 3418m² (床面積 1497m²)

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

認証・登録範囲

対象組織 : 本社・工場
対象活動 : 事業の概要と同じ

レポートの対象期間及び発行日

対象期間 : 2022年3月～2023年2月
発行日 : 2023年5月7日

3・環境経営方針

環境経営方針

《環境経営理念》

当社は、自動車部品金属プレス・溶接加工の事業活動において、環境に影響する業務があることを認識し、環境経営システムを構築し、運用することにより、地球環境に優しい企業経営を目指します。

《行動指針》

1. 当社に、適用される法規制、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 環境経営システムを運用するに当たり、以下を目標に展開します。
 - ① 省エネルギーに取り組み二酸化炭素排出量を削減します。
 - ② 生産活動での廃棄物の削減・リサイクルを推進します。
 - ③ 節水により水使用量を削減します。
 - ④ 環境に配慮したものづくりに努めます。
 - ⑤ 有害化学物質の適正管理に努めます。
3. 本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的改善を進めます。

制定日：2013年 6月10日
改定日：2022年 12月23日
株式会社 中山工業所
代表取締役社長 矢頭功生

4. 環境経営目標

作成日 2022年3月1日

環境目標一覧表

環境目標は、2017年度（2017年3月～2018年2月）を基準年度とした環境負荷の実績を年度基準として中期目標を設定する。

() 内は仕事量と相関する売上高原単位（百万円単位）とする。

※基準年度売上：1124百万円

項目	2017年度実績 基準年度	2022年度実績 目標	2023年度実績 目標	2024年度実績 目標
二酸化炭素排出量の削減 電力・ガソリン・LPG・灯油 (kg-CO ₂)	168,571 (150)	5%削減 160,142 (142)	6%削減 158,457 (141)	7%削減 156,771 (139)
電力使用量の削減 (kWh)	305,125	5%削減 289,869	6%削減 286,818	7%削減 283,766
灯油使用量の削減 (L)	7,483	5%削減 7,109	6%削減 7,034	7%削減 6,959
LPG使用量の削減 (kg)	182	5%削減 173	6%削減 171	7%削減 169
ガソリン使用量の削減 (L)	2,316	5%削減 2,200	6%削減 2,177	7%削減 2,154
廃棄物排出量の削減 (kg)	1,504	5%削減 1,429	6%削減 1,414	7%削減 1,399
水使用量の削減 (m ³)	424	5%削減 403	6%削減 399	7%削減 394
環境に配慮した製造 <加工油> (ℓ)	1,908	5%削減 1,813	6%削減 1,794	7%削減 1,774
有害化学物質の適正管理	40%未満保管維持 施錠管理	40%未満保管維持 施錠管理	40%未満保管維持 施錠管理	40%未満保管維持 施錠管理

①二酸化炭素排出量は、購入電力量、灯油、LPG、ガソリンの使用量の合計から算出する。

排出係数は2017年度の中電力調整後排出係数(0.472kg-CO₂/kWh)を使用。

②廃棄物排出量は事務部署から発生する焼却ごみ、不燃ごみ等の一般事業系廃棄物であり、生産現場から発生する廃プラスチック・廃油等の産業廃棄物は、定期的に発生しない為目標は作成しない。

③水使用量は上水使用のみで使用量を排出量とする。

④環境に配慮した製造は、環境に配慮して加工油の使用量削減とする。

5. 環境経営計画

2022年度 全社

作成日 2022年6月30日

環境目標	具体的な取組み内容	点検	担当部署
一酸化炭素の排出量削減	電力使用量の削減 基準年比 5%削減	・節電の実施(不要照明・換気扇off) ・エアコン温度管理の徹底 ・フィルター清掃(2ヶ月毎) ・設備停止時の電源off ・製造設備不稼働時の電源off	点検表 点検表 回/2カ月 点検表 目視
	化石燃料使用量の削減		
	灯油5%削減	・灯油使用管理	目視
	LPG5%削減	・LPG使用管理	目視
	ガソリン5%削減	・エコドライブの実施	目視
		・アイドリングストップの実施	目視
	廃棄物排出量の5%削減	・廃棄物の分別の徹底	目視
		・廃材の再使用・リサイクル	目視
	水使用量の削減 基準年比 5%削減	・手洗節水の徹底	目視
		・漏水の定期点検	点検表
環境に配慮した加工油の5%削減	・塗油範囲、頻度削減	目視	製造A 寺田
	・5S活動	目視	
有害化学物質の適正管理	・有害物質SDS整備	目視	業務 中根
	・入出庫管理の徹底	点検表	
社会貢献活動	・会社周辺の清掃活動	回/4カ月	全社員
	・地域行事に協賛	-	

6-1. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

2022年度 全社

作成日

2023年5月7日

環境目標	具体的な取組み内容	実施内容
二酸化炭素の排出量削減	・節電の実施(不要照明・換気扇off) ・エアコン温度管理の徹底 ・フィルター清掃(2ヶ月毎) ・設備停止時の電源off ・製造設備不稼働時の電源off	朝礼時に呼びかけ実施 チェックシートにて実施 2ヵ月ごとに実施 チェックシートにて実施 朝礼時に呼びかけ実施
化石燃料使用量の削減		
灯油5%削減	・灯油使用管理	朝礼時に呼びかけ実施
LPG5%削減	・LPG使用管理	
ガソリン5%削減	・エコドライブの実施 ・アイドリングストップの実施	
廃棄物排出量の5%削減	・廃棄物の分別の徹底 ・廃材の再使用・リサイクル	新聞紙、ウエスの再使用
水使用量の削減 基準年比 5%削減	・手洗節水の徹底 ・漏水の定期点検	チェックシートにて実施
環境に配慮した 加工油の5%削減	・塗油範囲、頻度削減 ・5S活動	
有害化学物質の適正管理	・有害物質SDS整備 ・入出庫管理の徹底	SDS整備・適正管理実施 チェックシートにて実施
社会貢献活動	・会社周辺の清掃活動 ・地域行事に協賛	清掃、除草作業実施 地域行事に協賛

6-2. 実施体制

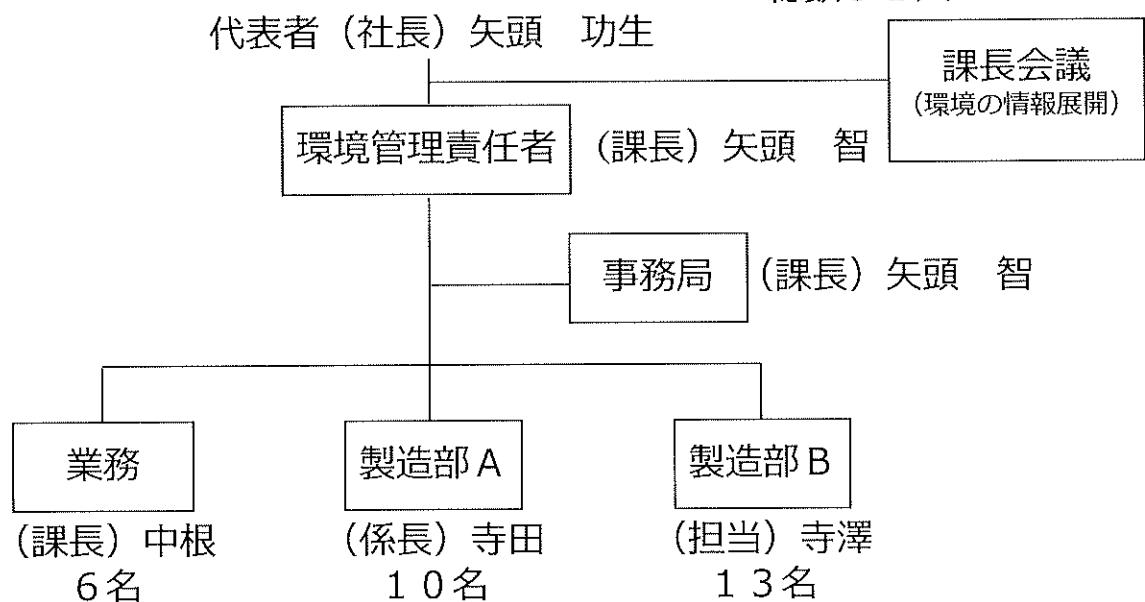
E A 2 1 組織図

作成日: 2022年6月30日

承認者: 矢頭 功生

(E A 2 1 実施体制)

総数 31人



役割	担当者	責任・権限
代表者	矢頭 功生	経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の制定 環境管理責任者の任命など実施体制の構築 資源【人員・設備・費用等】準備 全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者		E A 2 1 総責任者、E A 2 1構築・運用・維持実績の総括、システムの適合性、運用状況監査
事務局	矢頭 智	EMS事務管理、全体計画立案、文書作成・管理、環境教育計画・実施、環境経営レポート発行 外部からの苦情受付と必要な対応及び結果の記録
担当	中根	
	寺田	E A 2 1 運用実施、実施状況確認・記録
	寺澤	
	全社員	E A 2 1 運用実施

7-1. 環境経営目標の実績

環境への取り組みの実施期間は、当社の会計年度である
2022年3月から2023年2月までの1年間を取りまとめ期間とし、
基準年度との達成状況を次に比較しました。

尚、() 内は売上高原単位表示としました。

※2017年度実績 1124百万円

2022年度実績 1146百万円

環境目標項目	2017年度 実績	2022年度		増減率	評価 ○ ×
		目標	実績		
二酸化炭素排出量の削減 kg-CO ₂ (kg-CO ₂ /百万円)	(基準値) 168,571 (150)	5 %削減 160,142 (142)	142,872 (124)	-15% -17%	○ (○)
総 工 ネ ル ギ ー 使 用 量	電気使用量(kWh)	(基準値) 305,125	5 %削減 289,869	263,229	-14%
	灯油使用量(L)	(基準値) 7,483	5 %削減 7,109	5,146	-31%
	LPG使用量(kg)	(基準値) 182	5 %削減 173	156	-14%
	ガソリン使用量(L)	(基準値) 2,316	5 %削減 2,200	2,304	-1% ×
廃棄物排出量の削減(kg)	(基準値) 1,504	5 %削減 1,429	1,661	10%	×
水使用量の削減(m ³)	(基準値) 424	5 %削減 403	362	-15%	○
環境に配慮した 加工油の削減(L)	(基準値) 1,908	5 %削減 1,813	1,674	-12%	○
有害化学物質の適正管理	保管管理できた 施錠管理できた	適正管理 施錠管理	適正管理できた 施錠管理できた	-	○

注) 目標達成の場合は○、未達成の場合は×と表記しています。

電気使用量のCO₂排出係数は中部電力の

2017年度の中電力調整後排出係数：0.472kg-CO₂/kWhを使用。

7-2. 環境経営計画の取組み結果とその評価

評価基準：取組みができた○ 取組みができなかった×

取組み項目	取組み結果	評価
・節電の実施(不要照明・換気扇off)	チェックのシート活用、朝礼での呼びかけ実施	○
・エアコン温度管理の徹底	チェックシート活用、夏季26℃、冬季22℃で管理	○
・フィルター交換・清掃(2ヶ月毎)	2カ月に1度清掃、交換実施	○
・設備停止時の電源off	休憩、終業後、不要な時間帯の電源をoffを実施	○
・製造設備不稼働時の電源off	生産計画に基づき、設備の計画停止を実施	○
・灯油使用管理	朝礼などで節約を呼びかけたことで、意識向上	○
・LPG使用管理	朝礼などで節約を呼びかけたことで、意識向上	○
・エコドライブの実施	朝礼などで節約を呼びかけたことで、意識向上	○
・アイドリングストップの実施	朝礼などで分別を呼びかけたことで、意識向上	○
・廃棄物の分別の徹底	朝礼などで分別を呼びかけたことで、意識向上	○
・廃材の再使用・リサイクル	新聞紙、ウエスなど繰り返し使用	○
・手洗節水の徹底	蛇口の閉め忘れ、緩みが無いように呼びかけ実施	○
・漏水の定期点検	チェックシートを活用し、毎月点検実施	○
・塗油範囲、頻度削減	チェックシートを活用し塗布範囲、頻度を確認	○
・5S活動	毎週金曜日に一斉清掃を実施	○
・有害物質 SDS整備	適正な管理、保管を実施	○
・入出庫管理の徹底	チェックシートを活用し、適正な管理を実施	○
・会社周辺の清掃活動	長期連休前に会社周辺の清掃、除草作業を実施	○
・地域行事に協賛	地域行事に協賛	○

7-3. 次年度の環境経営目標

環境目標項目	2017年度実績 基準年度	2023年度 削減6%
二酸化炭素排出量の削減 電力・ガソリン・LPG・灯油 (kg-CO ₂)	168,571 (150)	158,457 (141)
電力使用量の削減 (kWh)	305,125	286,818
灯油使用量の削減 (L)	7,483	7,034
LPG使用量の削減 (kg)	182	171
ガソリン (L)	2,316	2,177
廃棄物排出量の削減 (kg)	1,504	1,414
水使用量の削減 (m ³)	424	399
環境に配慮した製造 【加工油】(ℓ)	1,908	1,794
有害化学物質の適正管理	40%未満保管維持 適正管理	40%未満保管維持 適正管理

7-4. 次年度の環境経営計画

2023年度 全社

環 境 目 標	具体的な取組み内容	点検	担当部署
二酸化炭素の排出量削減	電力使用量の削減 基準年比 6%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・節電の実施(不要照明・換気扇off) ・エアコン温度管理の徹底 ・フィルター清掃(2ヶ月毎) ・設備停止時の電源off ・製造設備不稼働時の電源off 	点検表 点検表 回/2カ月 点検表 目視
	化石燃料使用量の削減		
	灯油 6%削減	・灯油使用管理	目視
	LPG 6%削減	・LPG使用管理	目視
	ガソリン 6%削減	・エコドライブの実施	目視
		・アイドリングストップの実施	目視
	廃棄物排出量の 6%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別の徹底 ・廃材の再使用・リサイクル ・コピー用紙使用量の削減 	目視 目視 目視
	水使用量の削減 基準年比 6%削減	・手洗節水の徹底	目視
		・漏水の定期点検	点検表
	環境に配慮した加工油の 6%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・塗油範囲、頻度削減 ・5S活動 	目視 目視
	有害化学物質の適正管理	・有害物質SDS整備	目視
		・入出庫管理の徹底	点検表
	社会貢献活動	・会社周辺の清掃活動	回/4カ月
		・地域行事に協賛	-

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無

当社に適用される環境関連法規を下記へまとめ、遵守状況を確認、評価しました。

確認評価の結果は環境に関する苦情、違反、訴訟などの指摘は過去3年間ありませんでした。

適用法規	該当する規制	遵守項目	評価
破棄物処理法	廃棄物の適正分別と保管場所の確保	廃棄物分別手順と保管場所掲示	○
	産業廃棄物の適正処理	委託契約書	○
	マニフェストの交付と期間処理の確認	マニフェスト管理と5年間保存	—
	管理票交付状況の豊田市への年度報告	管理票交付状況報告書	—
公害防止組織法	機械プレス100t以上設置の特定事業者	公害防止統括者 公害防止管理者選任	○
騒音規制法	騒音発生特定施設の届出	プレス・コンプレッサー届出(設置段階)	○
	騒音に関わる基準値 45デシベル以下 第一種区域に該当	基準値遵守	☆
振動規制法	振動発生特定施設の届出	プレス・コンプレッサー届出(設置段階)	○
	振動に関わる基準値 60デシベル以下 第一種区域に該当	基準値遵守	○
フロン排出抑制法	特定製品の修理、廃棄時の適正回収	フロン回収業者への委託	○
	破壊措置義務、簡易点検の実施	第一種特定製品の修理、簡易点検	○
愛知県民の生活環境保全条例	駐停車時のアイドリングストップ及び 社員教育義務	従業者への教育	○
高圧ガス保安法	高圧ガス：CO ₂ 、圧縮アセチレンガス 指定数量以下の貯蔵、取扱	指定数量以下の確認、転倒防止 開閉手順等貯蔵、使用規制を順守	○
消防法（危険物）	少量危険物の貯蔵所の設置・管理	貯蔵所の設置・適正保管数量の掲示 少量危険物指定数量の確認	○

☆抜本的な対策が困難なため自社測定を2回/年実施

作成・遵守評価日 2023年5月7日

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

2023年 5月 7日

代表者 矢頭 功生

1. 全体評価、見直し内容

・目標未達成の項目

①ガソリン使用量②廃棄物排出量

①ガソリン使用量目標2200(L)に対し、2304(L) 1%減

②廃棄物排出量目標1429(kg)に対し、実績1661(kg) 10%増

お客様との打合わせ、納品、引取りなど社用車を使用する頻度が増加している。

お客様の生産も徐々に回復しており、仕入先への引取り、お客様への納品業務が結果的に増加したことが要因。

廃棄物排出量については、なかなかペーパーレス化が思うように進んでいない状況にある。

お客様からの発注に於いて紙媒体が増加していることも要因の一つ。社内で出来ることを進めていきたい。

[環境管理責任者：改善の提案]

新型コロナウイルスも少しではあるが落ち着いてきていると思います。

昨年同様、迅速な情報取得、展開に努め、余裕のある生産体制を築きたい。

ペーパーレス化については今できるものそうでないものを洗い出し、

廃棄物排出量を少しでも抑えていきたいと思います。

2. 変更の必要性

環境経営方針

不要

・ 要

環境経営目標

不要

・ 要

環境経営計画

不要

・ 要

実施体制

不要

・ 要

[変更の理由]

3. 改善の方針、結論、勧告等 環境管理責任者への指示事項

お客様からの情報を関係各位へ迅速かつ正確に展開し、ムダな在庫を造らない、

造らせないを心掛け、購買、生産を的確に指示することが必要になる。

生産に余裕のある仕組みづくりも必要であると考える。

各部署での生産に対する改善、環境に配慮した改善などを今後は期待したいと思う。